

# ごえもんぶろ 五右衛門風呂 ペーパークラフト

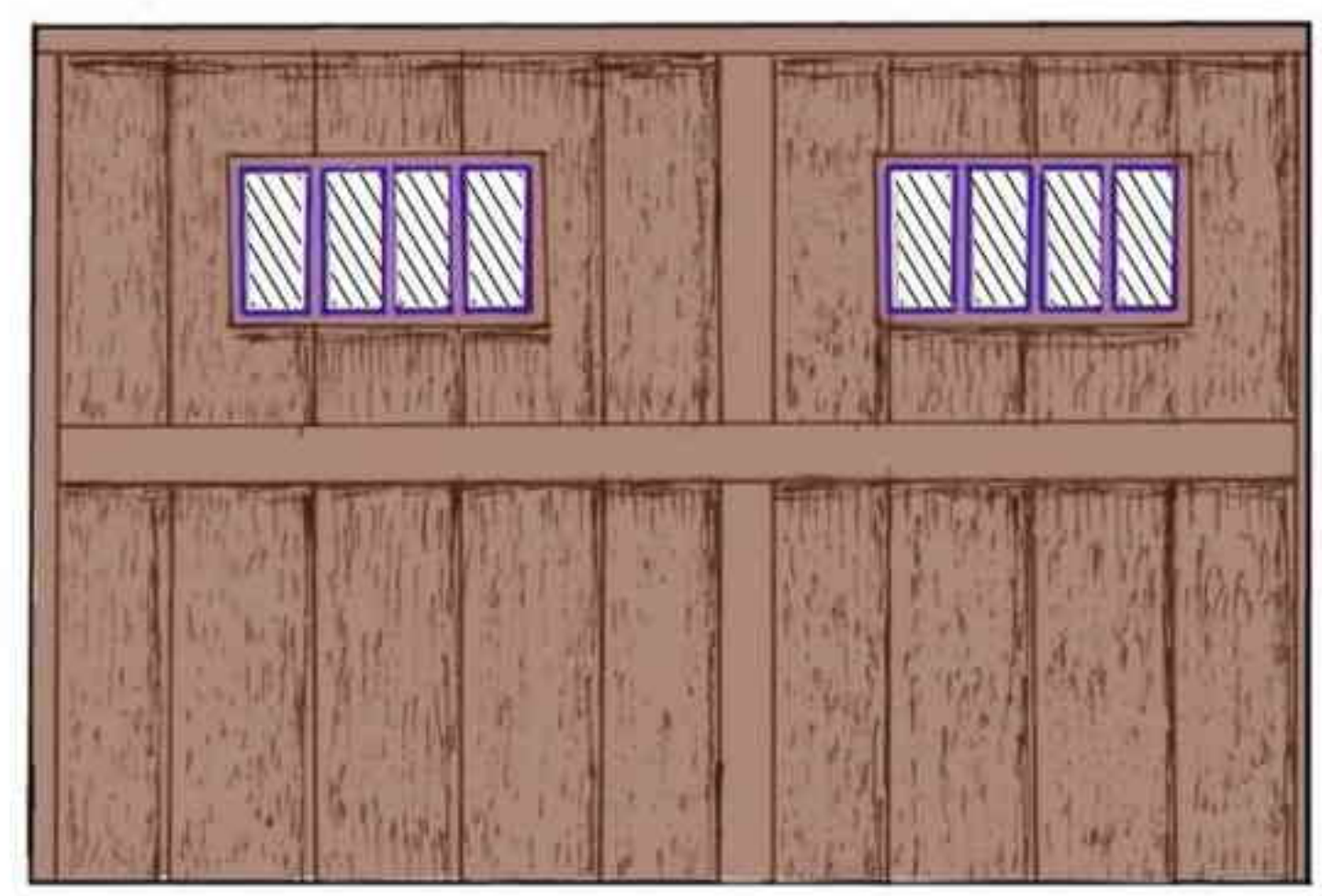
吹田市立博物館NO. 22 2014

型紙制作：西本安秀

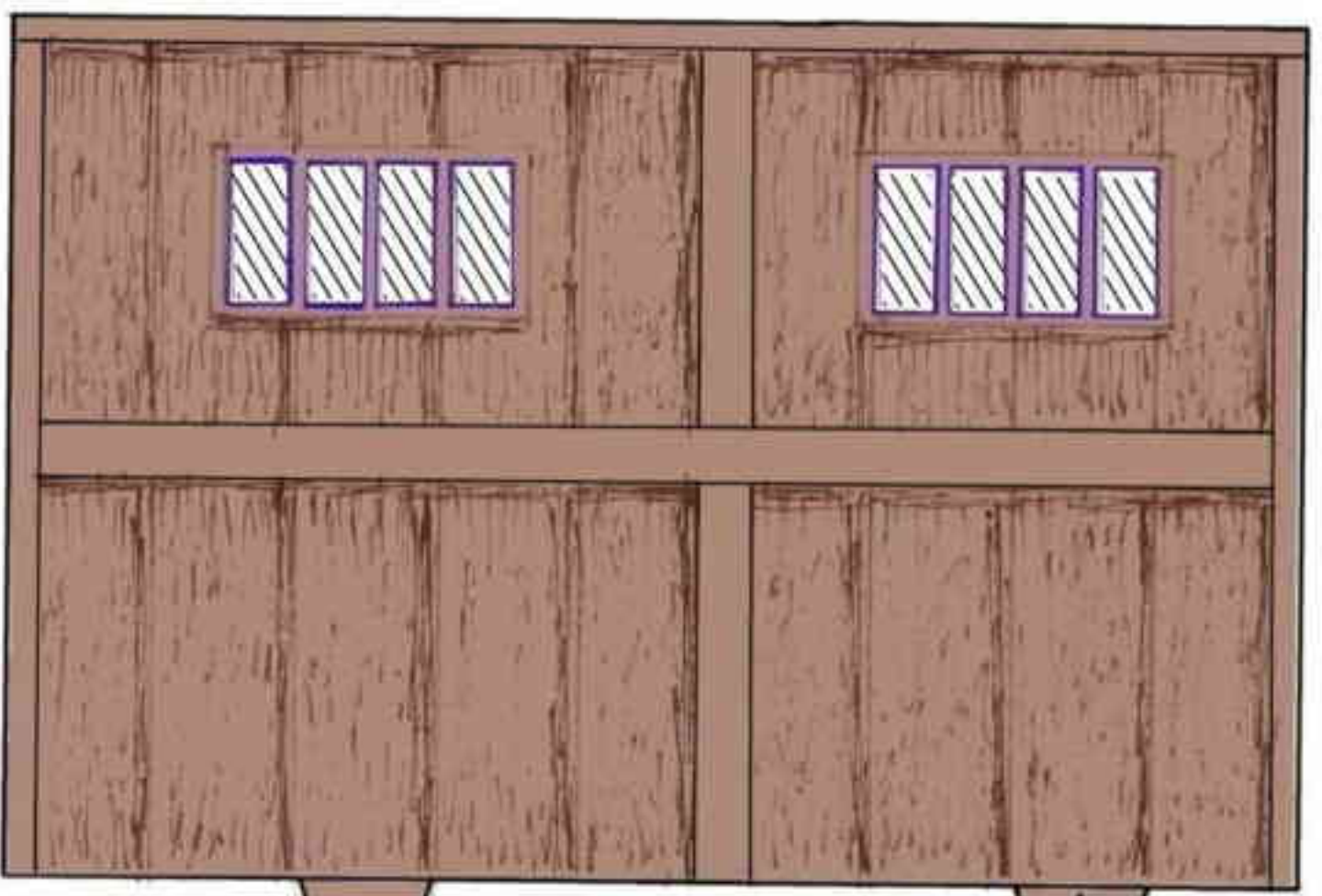
- 凡例
- 切りこみ
  - - - 山折り
  - · - 谷折り
  - のりづけ



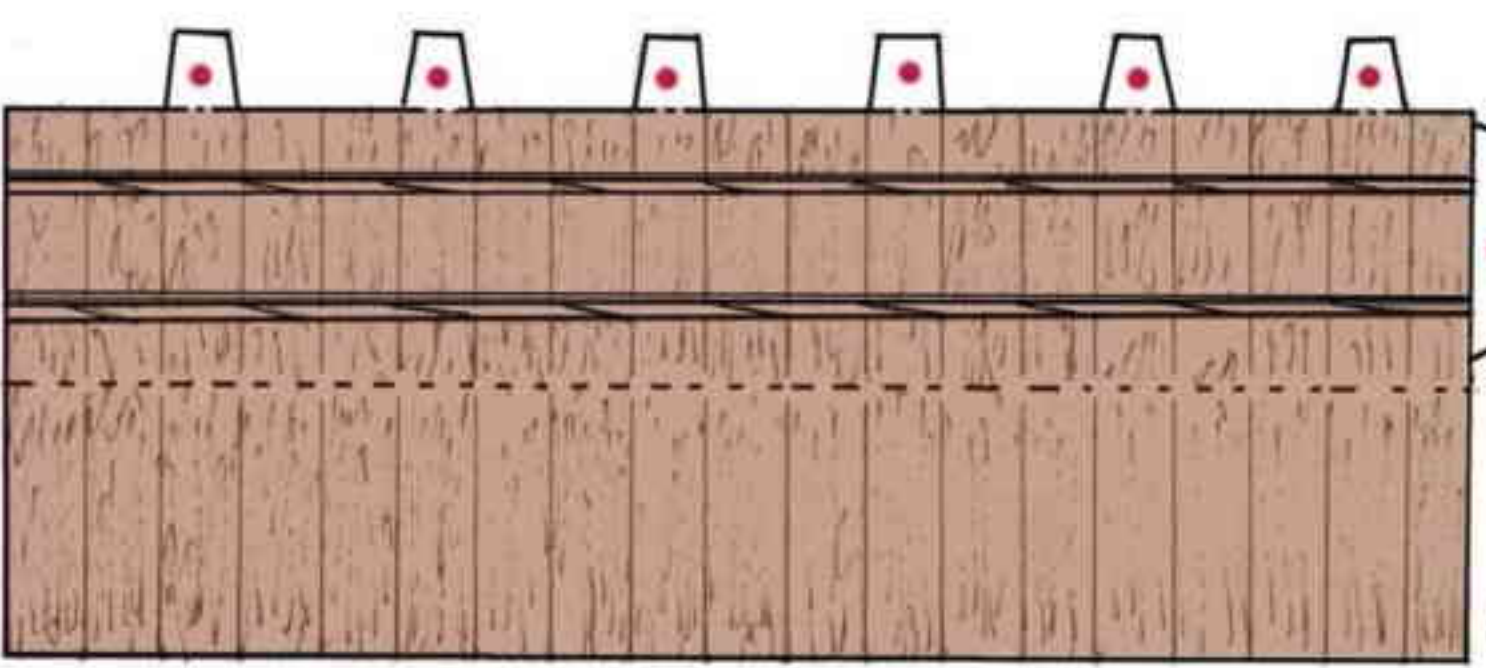
<完成写真>



②奥壁内面 \*斜線きりぬき



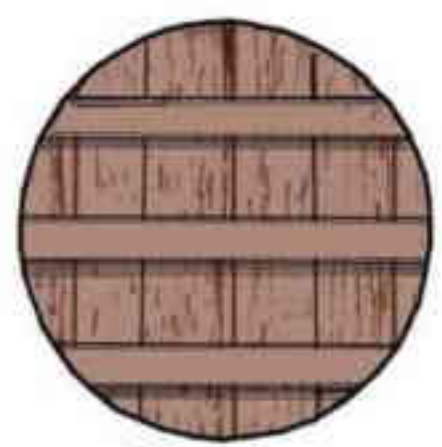
③手前壁 \*斜線きりぬき



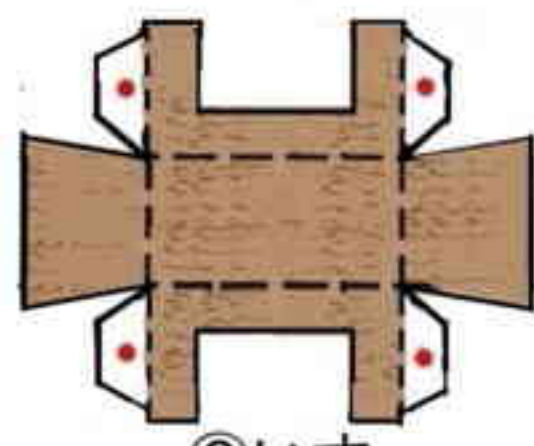
④湯桶



⑤釜底



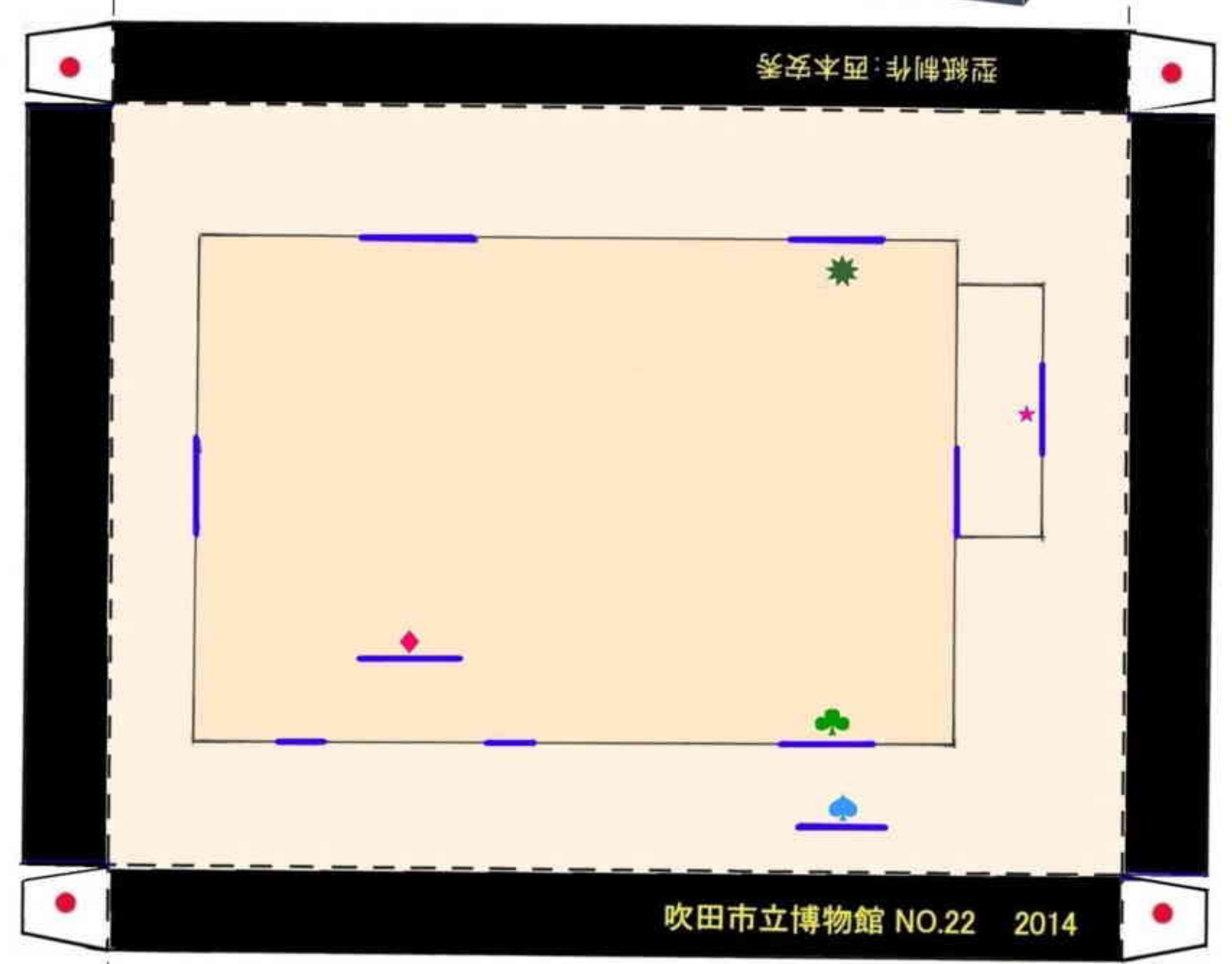
⑥底板



⑧いす

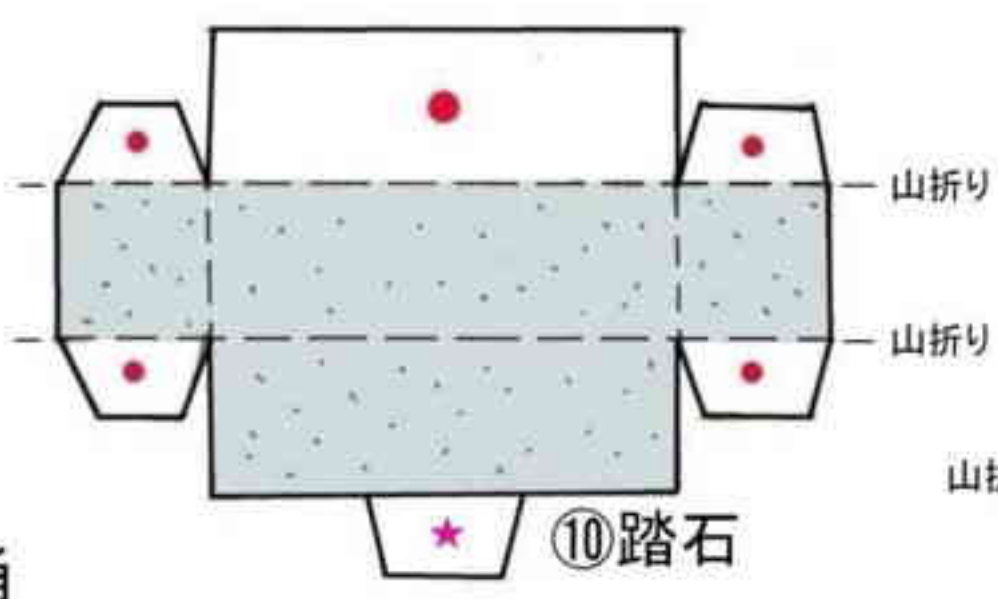


⑪薪

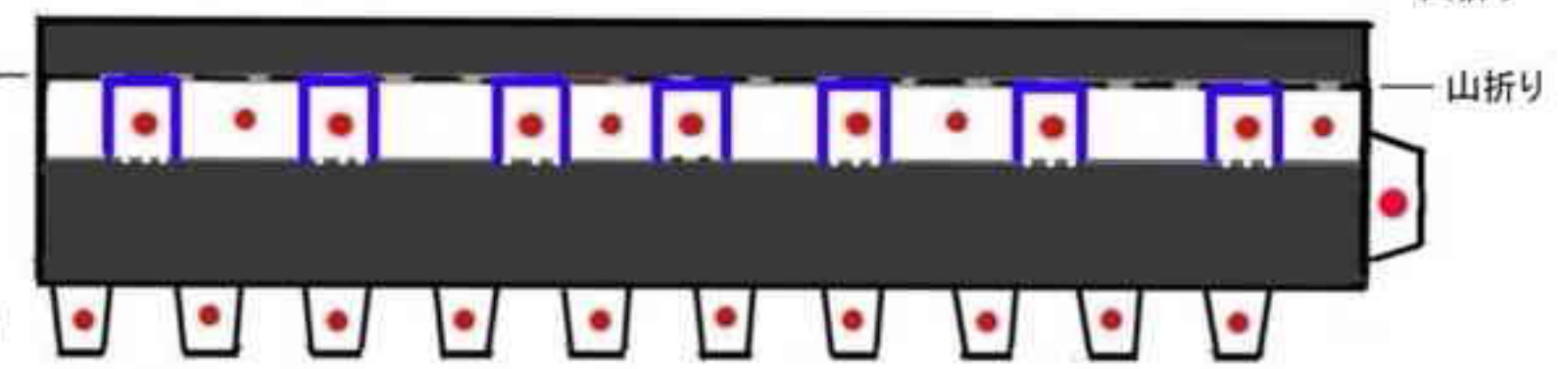


山折り ①土台

吹田市立博物館 NO.22 2014



⑩踏石



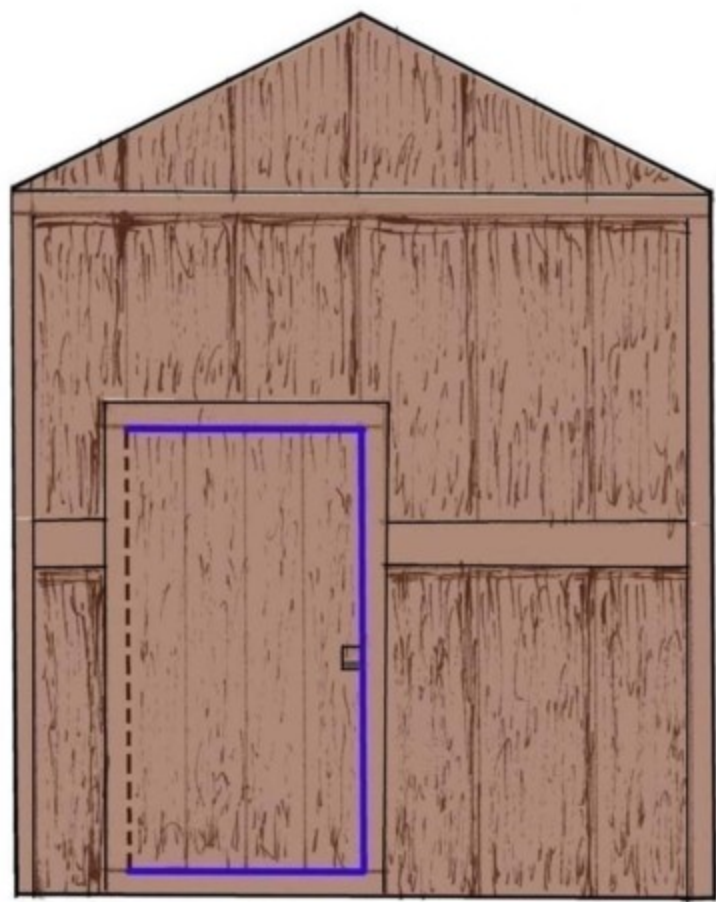
⑦釜本体



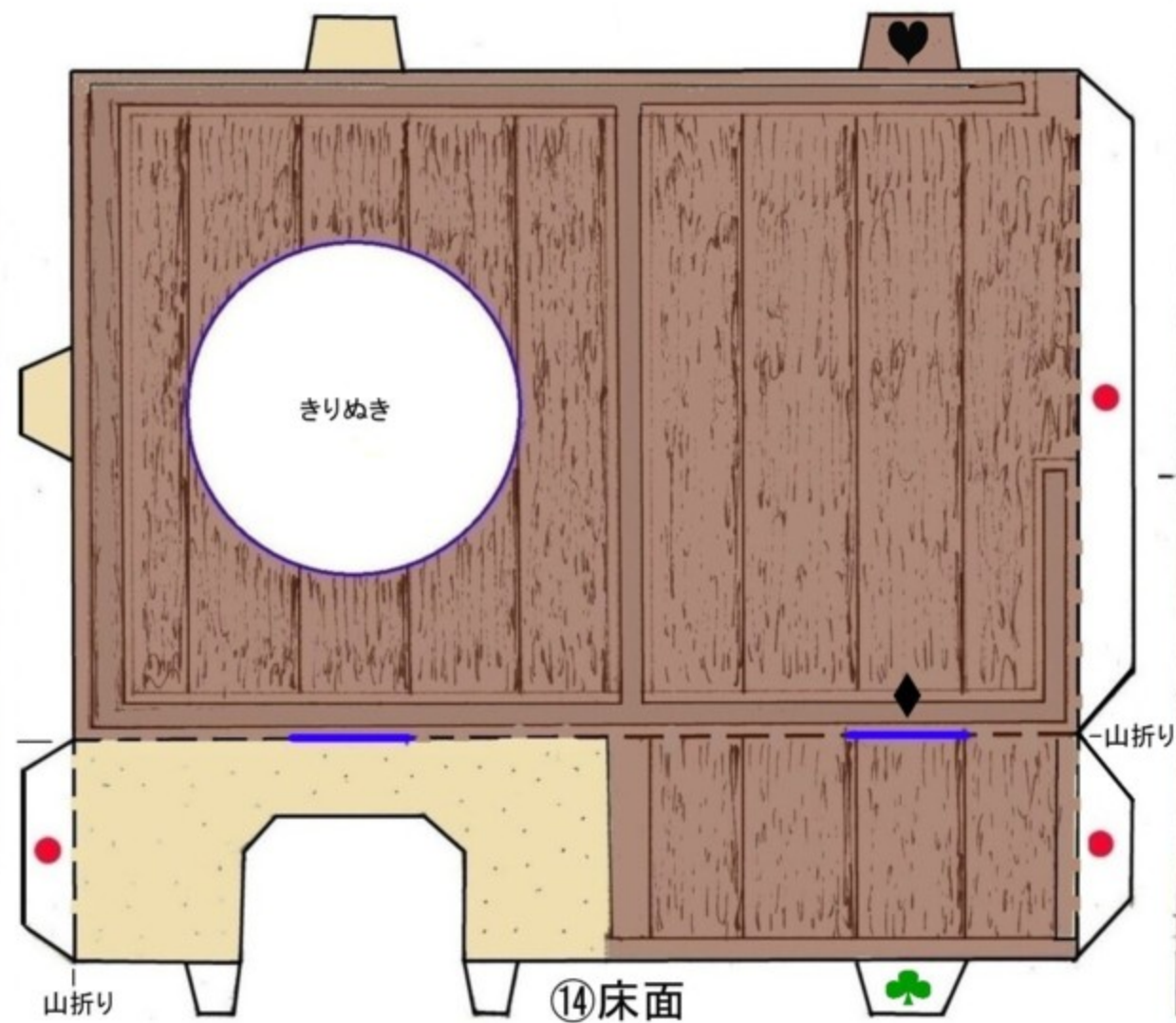
⑨おけ



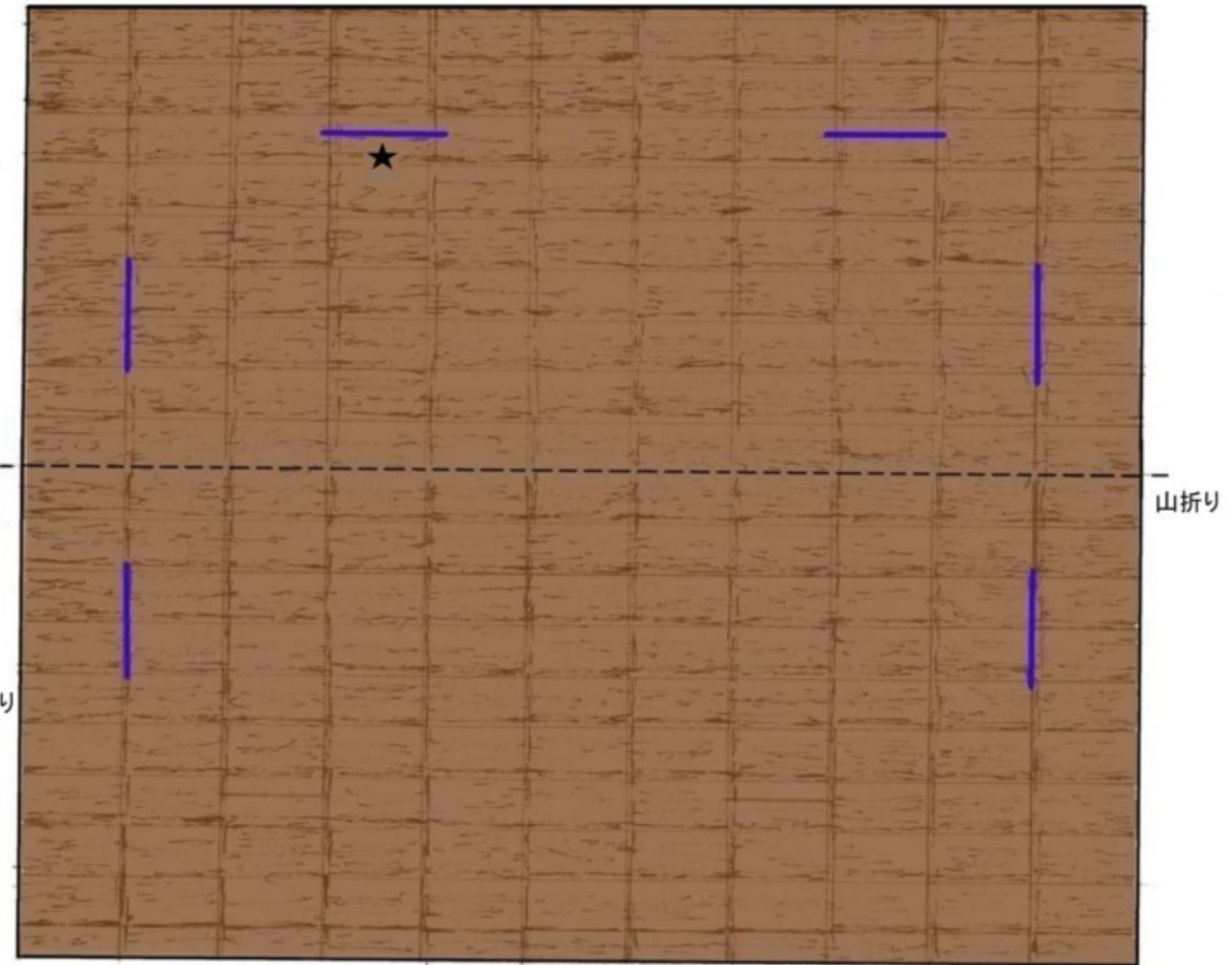
⑫題せん



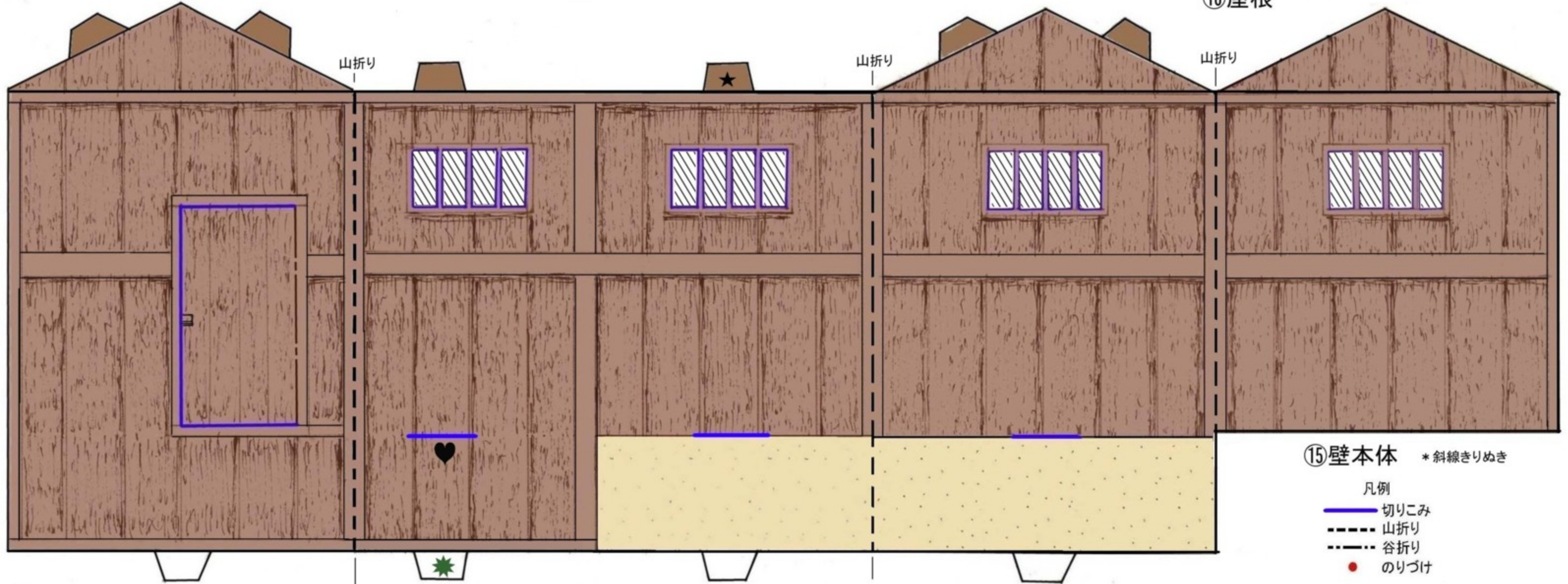
⑬右壁内面



⑭床面



⑯屋根

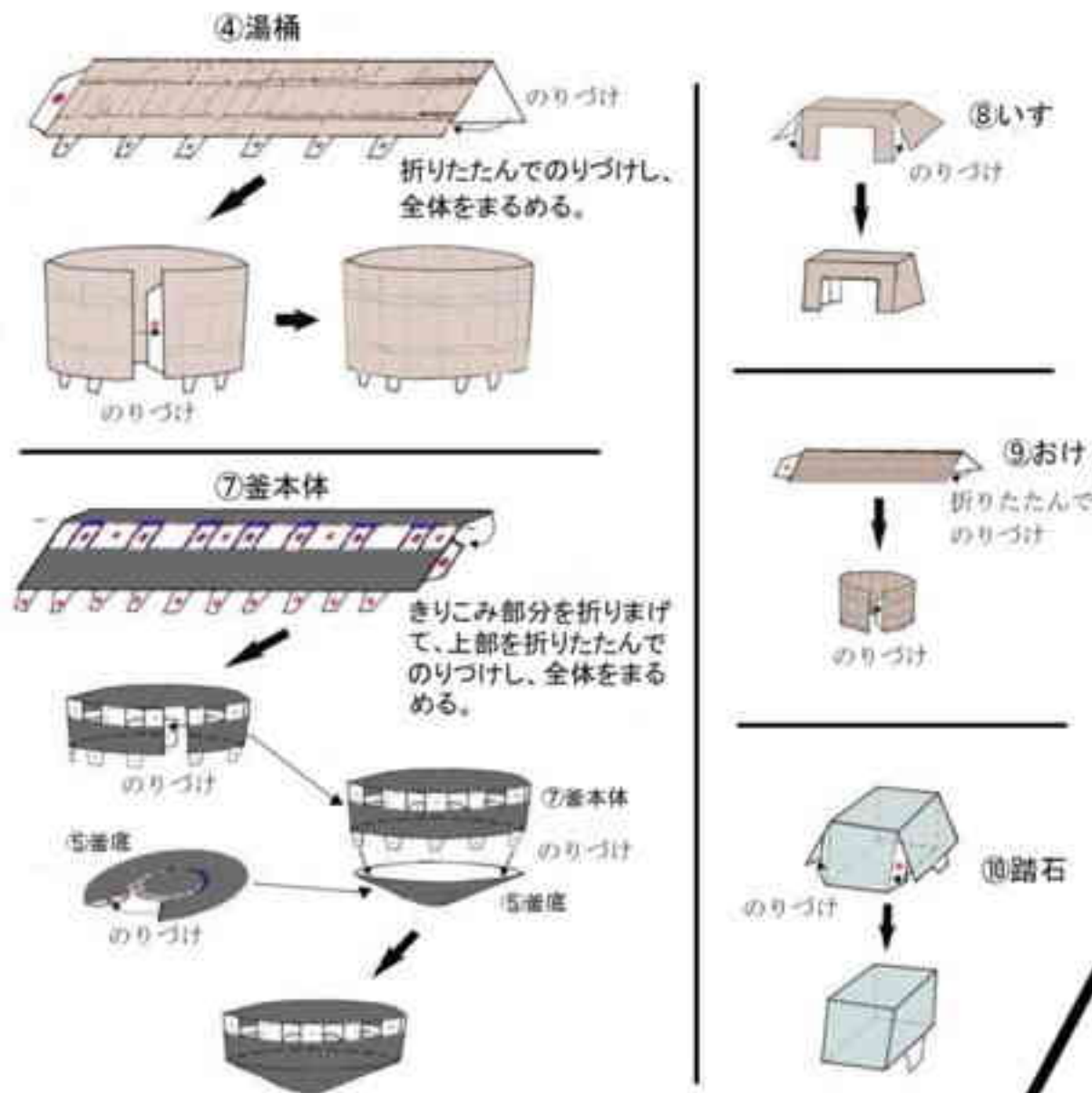


⑮壁本体 \*斜線きりぬき

- 凡例
- 切りこみ
  - - - 山折り
  - · - 谷折り
  - のりづけ

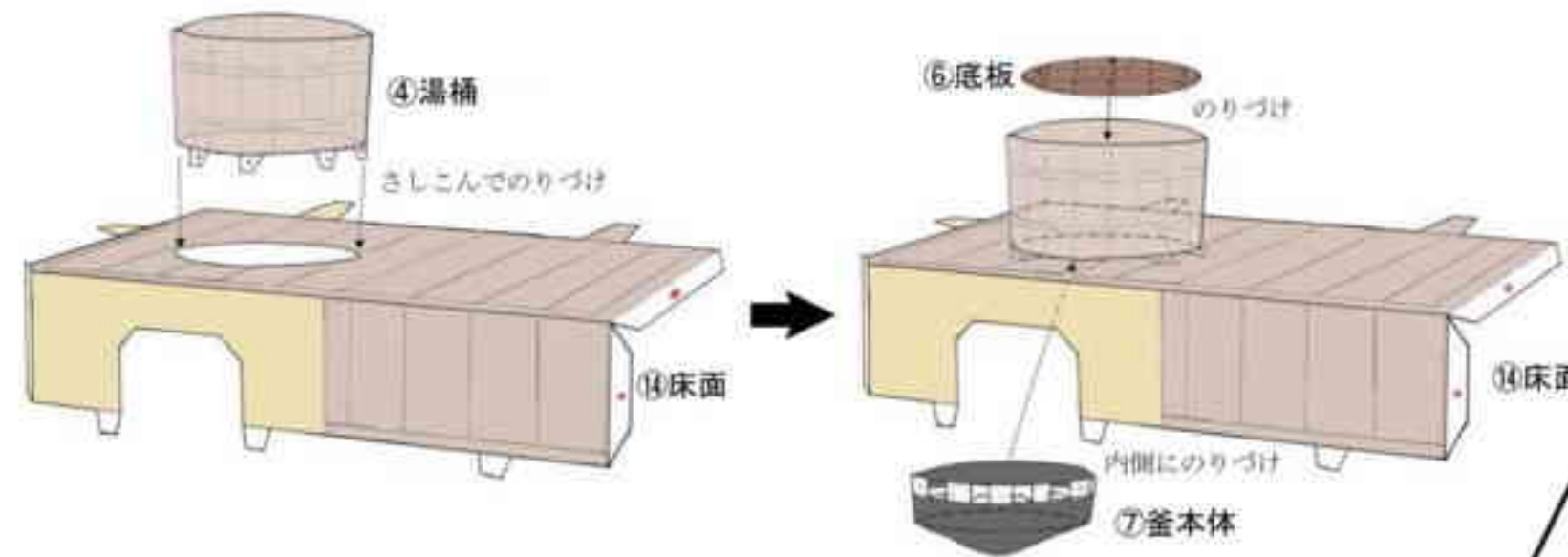
## 1 部品を作る

\*各部品に切込みを入れてからきりぬく。

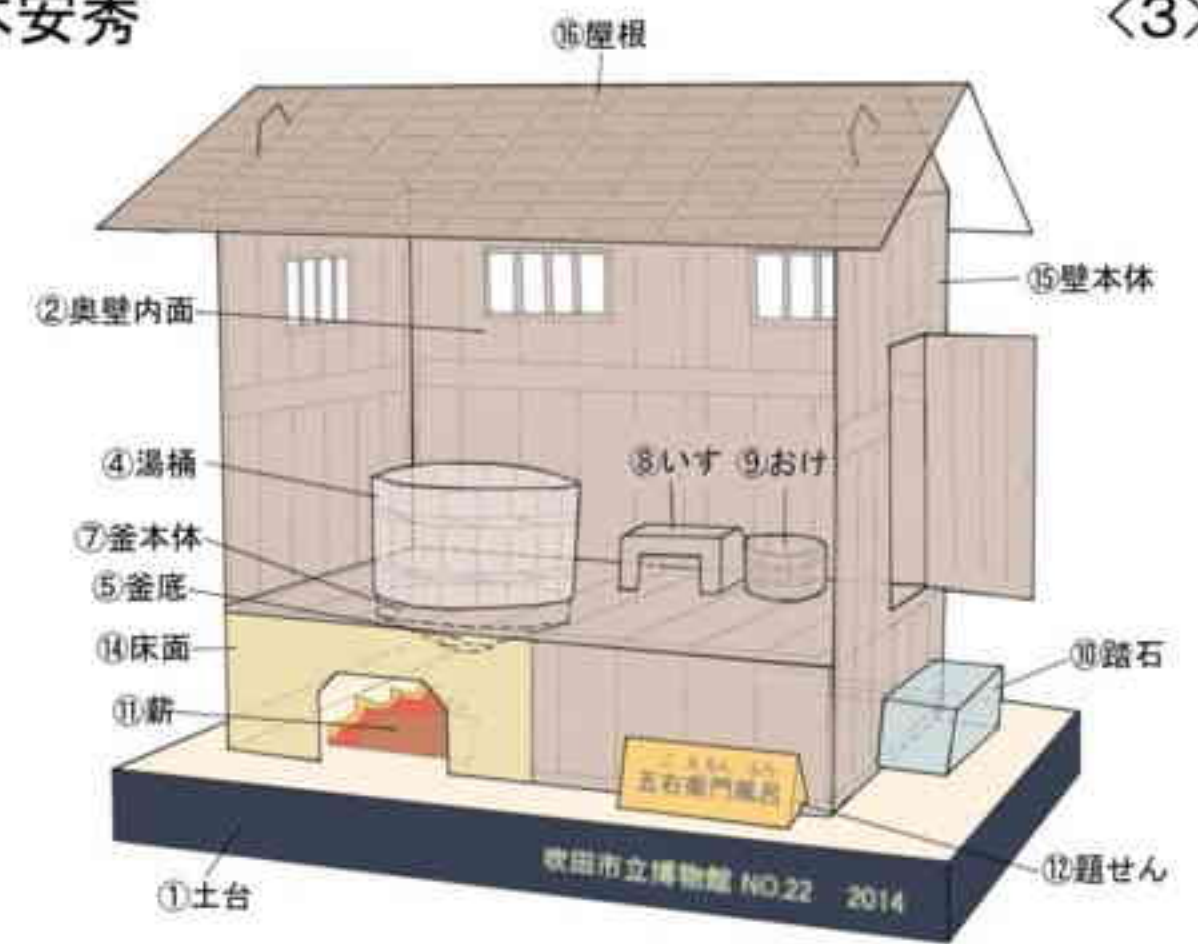


五右衛門風呂とは、かまどの上に鉄釜を置き、下から火をたいて湯を沸かす風呂のことで、湯桶の下に鉄釜を取り付けたものと、全体を鋳鉄でつくったもの(狭義の長州風呂)があります。湯に入る際は木製の底板を踏み沈めて入ります。名称は安土桃山時代の盗賊 石川五右衛門が釜ゆでの刑にされたという俗説によるといわれています。

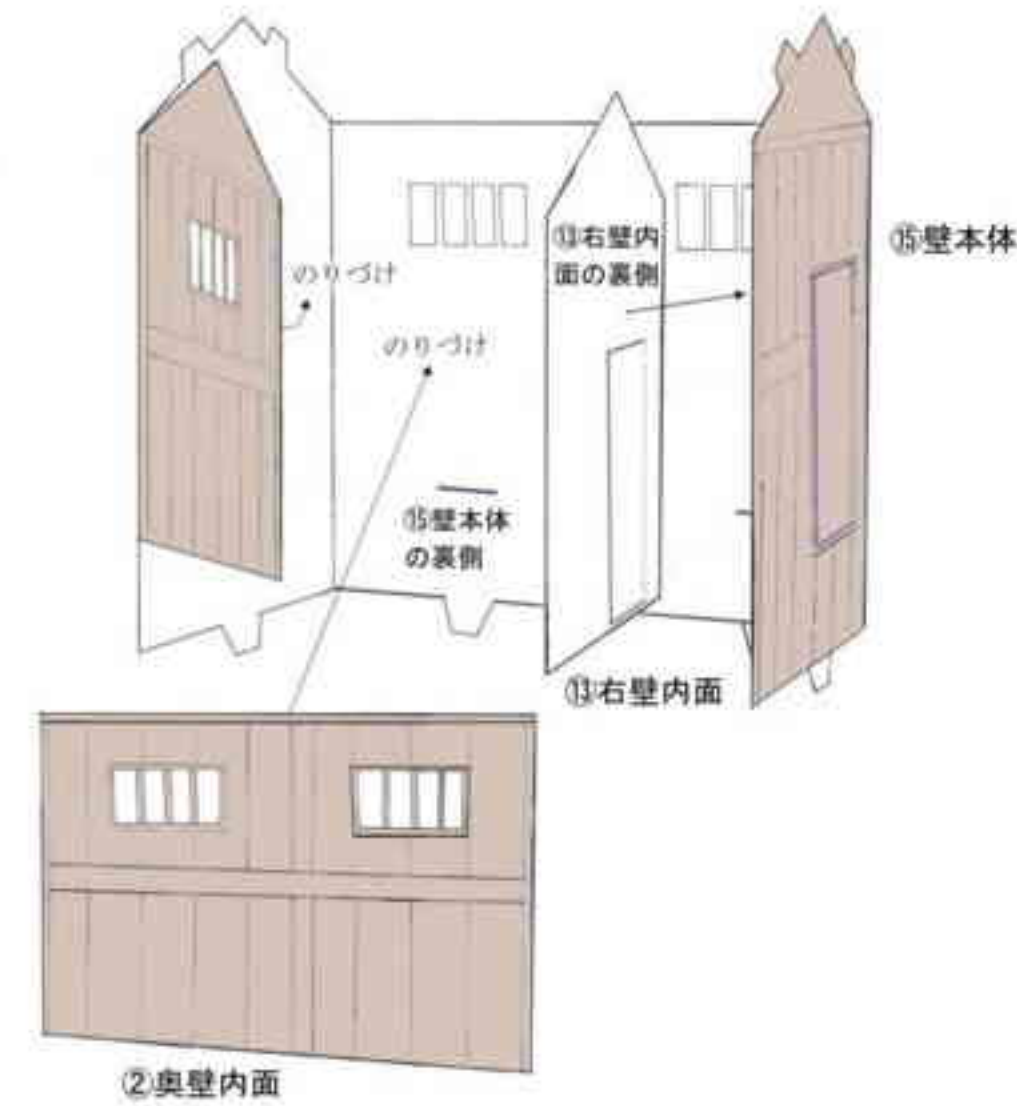
## 2 部品を組み立てる



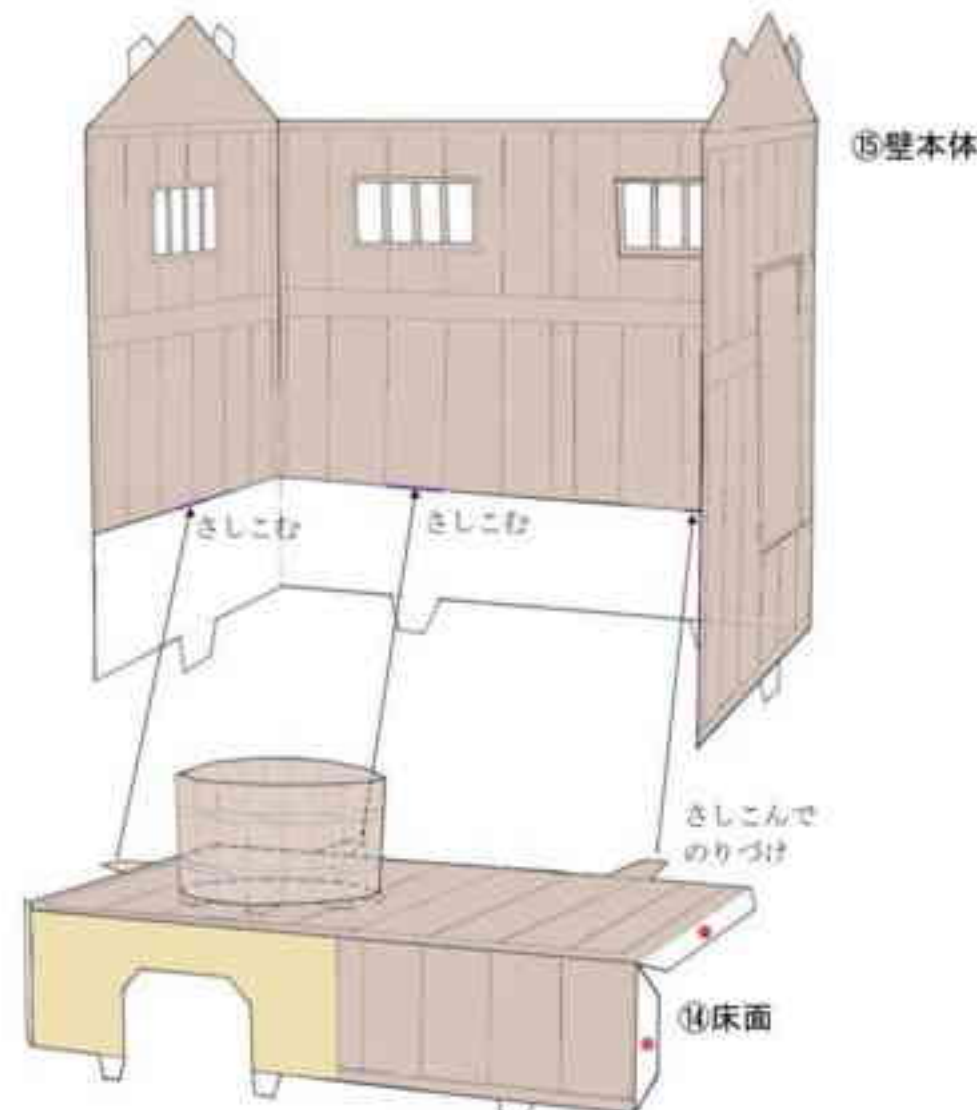
⑭床面に④湯桶をさしこんでのりづけする。次に⑦釜本体を、④湯桶の内面にのりづけし、上から⑥底板をのりづけする。



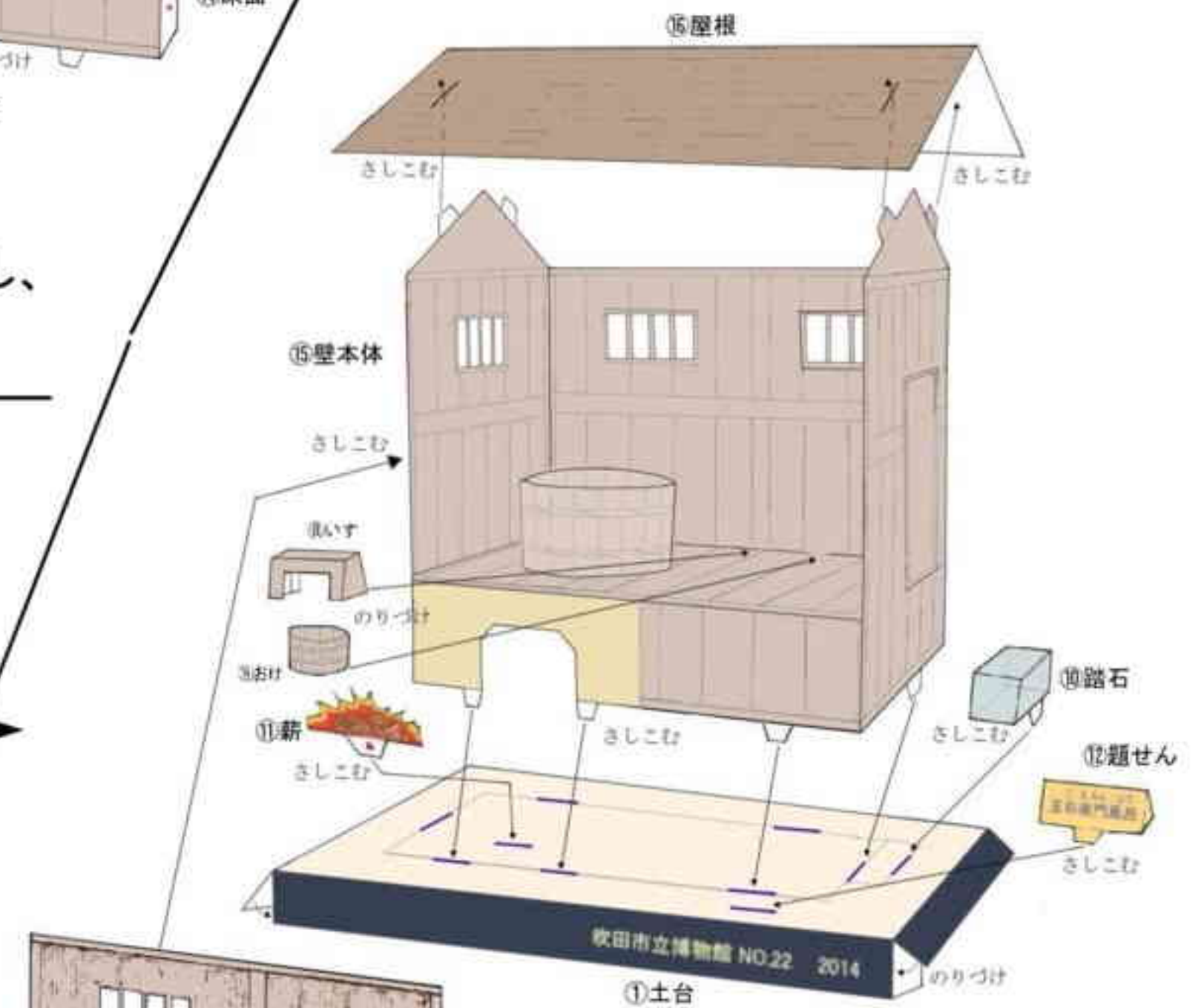
<組み立て完成図>



⑮壁本体に②奥壁内面と⑬右壁内面をのりづけする。



⑮壁本体に⑭床面をさしこんでのりづけする。



①土台に⑪薪、⑮壁本体、⑫題せんをさしこむ。  
⑮壁本体に⑯屋根をさしこんで完成。  
③手前壁は好みによってさしこむ。  
\*さしこむ際は記号を合わせる。